

1 管理状況

○ 適切な管理の履行

【ゴルフリンクス】

・樹木点検及び樹木医による特別点検

日々の樹木点検において、健康状態がナンバリングにて確認できる樹木点検シート台帳を活用し、早期の樹幹注入処理や伐採を行い、樹木の良好な状態を維持しました。また、今年度においては、樹木医による特別点検を実施し、樹勢や危険木調査、生育状況を確認しました。調査結果を基に、薬剤治療や剪定、伐採を行い、安全安心な環境を維持しました。

・先進機械の導入によるグリーン表層更新作業の効率化

グリーンの更新作業において、先進特殊機械「マレード」を導入したことで、コース管理作業の短縮を図り利用枠を拡大させました。また、芝への荷重や踏圧を軽減させることにつながり、作業後の芝の回復速度を向上させ、利用者が快適に利用できる環境を早期に提供することができました。その他にも多数の先進機械を導入し、年間を通じて質の高いコースコンディションの維持と利用枠の拡大を図りました。



<マレード>



<ベントラック>



<アマゾーネ>

【海釣り施設・関連園地】

・利用者マナーの啓発活動

サイクリングロードにおいては、事故が起こりやすい場所への看板や反射ステッカーの設置、HPやSNSによる注意喚起など、適正利用へ向けマナー啓発と事故対策を進めました。また海釣り施設においても立入禁止看板等の継続設置や巡回時の声掛けの徹底、SNSによる注意喚起、園内放送やイベント時のマナー啓発活動など、利用者の安全を確保し快適な利用環境の形成を図りました。



掲示板やフェンスなどに看板設置



巡回時の声掛け



SNSによる注意喚起

<マナー啓発・注意喚起>

○ 安全性の確保

・緊急時対応

近年、異常気象により午前中に雷雲が発生するケースが増加しているため、雷雲発生時のマニュアルを更新し、避難訓練を実施しました。

実際に著しい強風が発生した際も、当該マニュアルや過去の訓練を活かして避難誘導等を安全かつ迅速に行い、事前に利用者の利用環境等の聞き取りを丁寧に行ったことで苦情はありませんでした。



安全衛生委員会での雷雲発生時マニュアルの協議



休場日を活用した避難訓練



雷雲接近時のクラブハウスの避難誘導

2 事業効果

○ 事業の取組

【ゴルフリンクス】

・一般開放デーの実施

ゴルフ場を都民に開放し、緑あふれるコースの景観を楽しみながら、コース内のウォーキングや芝滑り、スナッグゴルフ等のイベントを通じて、ゴルフ場の魅力をアピールしました。「ミニフットゴルフ体験」「バンカー砂遊び」「はたらくくるま展示」をはじめ、公益財団法人日本ゴルフ協会と連携し、東京2020 オリンピック競技大会ゴルフ日本代表女子チームのコーチによる特別講演会など、新たに7つのイベントを実施し、昨年度の2倍を超える参加者となりました。



新規 ミニフットゴルフ



新規 はたらく車



新規 バンカー砂遊び

【海釣り施設・関連園地】

・様々なイベント開催

公園が閑散期となる冬季期間に、来園者を呼び込むための取り組みとして「若洲冬の海釣り大会」を開催しました。イベント開催前から、公園HPやSNSにて告知を行い、多くの方からの反響を得ることができました。また、真夏の日中を避けて、夜の涼しい時間帯で、夜にしか見れない園内の昆虫の生態や景観を楽しむイベントとして「わかすサマーナイトツアー」を新規で開催しました。参加者からは「自由研究の題材に困っていたのでこれで進めてみます」や「昆虫の不思議な生態をたくさん知ることができた」など好評を得ました。



蝉の羽化の瞬間の撮影



カートでコース内をツアー



夜景スポットで家族撮影



蝉取り

【情報発信】

・ホームページの充実

抽選予約における申込倍率の日毎更新や、キャンセル分の即時補充予約の公開など、予約の空き情報がすぐわかるようホームページの構成を工夫するとともに、前日や当日の急なキャンセルによる予約空き状況をリアルタイムで掲載し、瞬時に確認できる特設ページを、新たに若洲ゴルフリンクスのトップページに設置しました。

○ 利用の状況

公園利用者数は、前年度から約1%減少しましたが、ゴルフリンクスはゴルフ場・練習場ともに平成18年度以降過去最高の利用者数となりました。

○ 行政目的の達成

・再生エネルギーでつくられた電力の導入

100%CO2フリーの再生可能エネルギーである水力発電による電力を導入するため、電力会社と交渉を重ねた結果、山梨県企業局の県営水力発電所で作られた電力を当施設に供給することができました。山梨県から授与された認証書を若洲ゴルフリンクスのフロントに掲示することで、若洲海浜公園における環境への取り組みを広く都民へアピールしました。

3 収支状況（単位：千円）		
項 目		金 額（税 込）
収 入 計		845,389
内 訳	指 定 管 理 料	0
	利 用 料 金	845,389
支 出 計		568,178
納 付 金		248,149
収 支 差		29,062

※ 単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。